ふれあいあごら

ふれあい毎日では読者の皆さまの「あごら」への投稿をお待ちしています。

女子硬式野球の現状

女子中学生硬式野球全国大会が9月21日、22日、海老名運動公園野球場で開催された。コロナウイルスの影響で参加を取りやめたチームが多く、参加は4チームと少なかったものの、関係者のご尽力により開催、「関西レディース」が優勝した。

開会式なし、懇親会なしの異例の大会であったが、多くの大会が中止となる中、勝敗にかかわらず参加した選手には素晴らしい思い出となったに違いない。

少子化とサッカーブームに危機感を持ったNPB（日本野球機構）が、2013年に女子学童が都道府県単位で参加できる全国大会「NPBガールズトーナメント」を創設したことで、地域での組織化が進み、女子の環境も改善されて来た。この大会は女子学童の憧れの大会となっている。

一方、中学女子の環境はどうだろうか。

かつて、小学生の学童野球で活躍した女子選手が中学で野球を続けようとしても環境があまりにも乏しいため、中学入学と同時にソフトボールや他のスポーツへ移ってしまい、野球を断念するケースが多く見受けられた。

硬式野球をやるには、地域のクラブチーム、リトルシニアやボーイズに代表される中学硬式野球の団体に入る必要がある。現在では、いずれの団体も練習環境が整い硬式野球をやりたいという女子選手に門戸が開かれているので安心だ。

女子チームは関東女子硬式野球連盟に加盟しており、現在12の中学生チームがある。4月から7月にかけて、U15ヴィーナスリーグとして二つのプールに分かれ総当たりのリーグ戦が行われる。

また、夏には一般社団法人全日本女子野球連盟主催の「全国女子中学生硬式野球選手権大会」が開催される。全国のクラブチームや各種団体から多数のチームが参加し、名実ともに女子中学生の日本一を決める大会だ。

私にとって女子硬式野球は、かつて学童野球チームに所属していた長女の関係で、浅からぬ縁を感じ、関心がある。コロナウイルスの収束を祈り、女子硬式野球のますますの発展を願っている。

（八千代市　大友博）

ガンちゃんの行ってきました！

愛犬と一緒に楽しむ幸せリゾート

八街市

小谷流（こやる）の里 ドギーズアイランド

プールで気持ちよさそうに泳いでいたワンちゃんが、「どう？ここ最高でしょ！」と、勢いよく走り寄って来て、濡れた体をブルブルっと震わせながら、私に笑顔で話しかけてきた（ような気がした）。

そう、ここは八街市にある『小谷流（こやる）の里ドギーズアイランド』。総敷地面積約200万平方メートルの自然に囲まれた複合型施設。全ての時間を愛犬と共有できる夢のリゾートだ。

施設の中には、5つの宿泊棟があり、好みに合わせた滞在を楽しむことが出来る。もちろん日帰り利用もOK。愛犬と一緒に食事が楽しめるレストランやカフェもある。

ワンちゃん達が、思う存分走り回ることの出来る総天然芝が美しいドッグランは、全部で4つ。中～大型犬専用、小型犬専用のドッグランの他に、全犬種用と貸切用のドッグランがある。ちなみに中～大型犬専用のドッグランにあるじゃぶじゃぶ池は、最大水深80センチもあり、体の大きなラブラドール君だって、余裕で水浴びが楽しめちゃうのだ。

千葉市花見川区からゴールデンレトリバーのはるちゃん（4歳）とやって来た菜乃香さんに『ドギーズアイランド』について聞いてみた。「ここに来たのは、2回目。大型犬がのびのびと自由に過ごせる広い敷地とプールが魅力」だそう。

菜乃香さんは、はるちゃんの他にも、なんと大型犬2匹と小型犬1匹を連れていた。なるほど、納得のお答えです。ここでは、ワンちゃんも幸せそうだけど、それを見守る飼い主さんたちはもっと幸せそうに見えるのだった。

将来的には、ビオトープやグランピング、農業体験ゾーンなどの様々な造営計画があり、幅広い世代の人が楽しめる「第2のふる里づくり」を目指すのだという。千葉の自然の中でこそ楽しめる、皆が幸せになれるような施設がどんどん増えていくとうれしい。

自然と対話して、環境教育を伝承する団体

NPO法人 八千代オイコス

八千代市

前日の雨も上がり、時折日差しが降り注ぐ9月13日、八千代市内を流れる花輪川で、川の清掃、泥の除去、草刈り等の作業が行われた。主催はNPO法人八千代オイコス。

当日は会員8名と、日本ボーイスカウト八千代第二団4名も加わっての作業だ。

「こういった作業で川の保全を行っていても、周囲の環境の変化で年々生き物の数は減ってきている」と元代表の川瀬純一さん（80）は嘆く。しかし、長靴で入ってみると、澄んだ川の中にはエビが泳ぎ、黒い羽の川トンボが緑の水草の上にとまっている。

オイコスの約20年の環境保全活動は、地道な努力の積み重ねだ。彼らの熱意と努力がなければ、今この風景を見ることはできなかっただろう。

設立は2001年。以来、印旛沼の上流にある花輪川の遊歩道の整備や環境保全を行い、自然と対話して、環境教育を伝承する団体として、地道な活動をしてきた。

子どもたちの、自然を愛し大切にする心を育もうと年に一回、小学生向けに花輪川を教室に「川の学校」を開催してきた。

「市内には、子供たちが実際に入って水に親しめる川はほとんどないため、花輪川の存在は重要」と、事務局の小林和幸さん（75）。今年はコロナの影響で、残念ながら一般参加者向けの多くのイベントが開催出来ず、「川の学校」も中止となった。

しかし、川作業に参加するオイコスの会員らの表情は明るい。「ここをね、大人たちの居場所にしたいんです」と話すのは代表理事の金室彰さん（69）。オイコスは、ギリシャ語で「家」の意。一緒に活動する新会員も募集中だ。

10月25日（日）には秋のエコ活動とウォーキング（雨天中止）を開催予定。申し込み先着順30名。小学生以上（小学生は保護者同伴）、参加費一人300円。申し込みはホームページのみ、締め切りは10月10日（土）。詳細はHP。http://yachiyo-oikos.jp/eco_entry/

▽問☎090・1842・8738（事務局　小林さん）

▼アクセス：東関道佐倉ICより12キロ。JR八街駅からタクシーで約15分。八街市小谷流624。

▽問☎043・312・1110。www.doggys-island.jp

矢路川結子のおうちでごはん ココカラエガオ食堂

発酵×スパイス食堂 Yajikko KITCHEN

糀と魚を使った おつまみになる一品

お友だちとのお家飲みや仲間とのｚｏｏｍ飲みにも喜ばれる一品です！
今回はまぐろを使いましたが、旬の魚に変えても美味しく出来ます。

材料 ＜作りやすい分量＞

まぐろ	150ｇ前後
きゅうり	1本
焼き海苔	半切
☆炒りごま	大さじ1
☆甘糀（甘酒）	大さじ2
☆醤油	大さじ2
☆コチュジャン	大さじ1/2
☆ごま油	大さじ1/2

作り方

1. きゅうりはめん棒で叩いてヘタをとり、食べやすい大きさに切る。まぐろも1口サイズに切る。
2. ボウルに☆の材料を入れよく混ぜ合わせる。
3. 1の材料とちぎった焼き海苔を2で作った調味液のボウルに入れてよく混ぜわせる。器に盛りつけて完成。

■矢路川結子 プロフィール

発酵食エキスパート1級。スパイスハーブコーディネーター。薬膳コーディネーター。食の専門学校レコールバンタンフードコーディネーター学科で学び、卒業後、レシピ開発、撮影、ケータリング、イベント出演等様々な現場で経験をつみ、その中で改めて発酵食を勉強していきたいと考え発酵食大学院にて学ぶ。千葉県のビジネスプラン・コンペティションで応募の100社以上の中、ファイナリスト5名に選ばれ、最終審査で奨励賞を受賞。

（ヤジッコキッチン：市川市南八幡1－1－17　☎047・329・2823）

かんばれ柏レイソル

ルヴァンカップのタイトル獲得へ総力戦！

J1リーグも折り返し地点を過ぎ、19試合を消化した現在レイソルの順位は8位。ルヴァンカップでは今日（10月7日）、ニッパツ三ツ沢球技場で横浜F・マリノスと準決勝を戦います。

過密日程も影響し、けが人も多く出ていますが、戦列を離れている選手たちのためにもルヴァンカップのタイトル獲得、リーグ戦でも一つでも上の順位を目指し、例年以上に総力戦で引き続き戦ってまいります。今後のホームゲームは10日（日）15時から神戸戦、14日（水）は19時から浦和戦、31日（土）は清水戦と続きます。少しずつ規制が緩和されてはいますが、引き続き感染予防を徹底しながら是非スタジアムでの応援、またはDAZNを通してご観戦いただければと思います。ご声援をどうぞよろしくお願い致します。（柏レイソル広報）

柏レイソル公式HP https://www.reysol.co.jp/

「ふれあい毎日」ライターさん募集中！

千葉県下の話題や催し、サークル、人物などを取材してください。経験・年齢不問、学生可、出社不要。

▽問 furea i@bunya.ne.jp

日帰り　Go Toトラベル事業支援対象ツアー

紅葉の上越国境・世界最長「ドラゴンドラ」と日本三大峡谷清津峡

苗場プリンスホテルのある苗場高原と山頂に広がる田代高原を結ぶ日本最長のゴンドラ。
道のり約5.5km、標高差約425mをアップダウンを繰り返しながら進むスリルと迫力はまさに圧巻です。

◆コース／新宿駅前8時発＝〈貸切バス〉＝苗場高原・山麓駅―〈ドラゴンドラ▷世界最長約5.5キロ▷往復、紅葉の上越国境の山々〉―田代高原・山頂駅（往復）＝清津峡（日本三大峡谷、2018年にリニューアルされた絶景展望台）＝新宿19時頃着
◆食事／昼食（魚沼産こしひかりおにぎり弁当）付き
◆添乗員同行　◆最少催行人員：20名
◆利用バス会社／弊社協力バス会社予定

出発日
10月17日㊏・19日㊊・22日㊍
旅行代金（おひとり）
12,980円（税込み・日帰り）
GoToトラベル事業給付金額（おひとり・割引額）/4,000円
※地域共通クーポン券（おひとり）2,000円分
お客様お支払い実額（おひとり）
8,980円
※バスの1名2座席利用は5,000円増し。

◆申し込み／毎日新聞旅行〈ふれあい〉係（9時30分～17時30分、土曜9時30分～12時、日祝休み）後援・東葛毎日新聞社
コースNo.【C9019-53】　まいたび　☎03-6265-6966